

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34201	情報資源組織論 Organizational Theory of Information Resources	江良 友子	専門	2	選択	1・2年 前期
<b>科目の概要</b>						
図書館が収集した情報資源を利用に供するためには、それらを蔵書体系の中に適切に位置づけ、検索手段を整えることが必要である。この目的のもとに、印刷資料、非印刷資料、電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源に対して、分類や配架位置に関する一連の加工を施し、書誌情報を把握し、索引や目録を作成することを、情報資源の組織化という。この科目では、その技術やルールを理解するために、その基底をなす原理や考え方を中心に学習する。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 情報資源組織化の意義と理論について学ぶ ② 目録法の基本について学ぶ ③ 主題分析について学ぶ ④ 書誌情報の作成の方法と実際について学ぶ ⑤ 情報資源の組織化について学ぶ			① 資料を組織化することの意味を理解することができる ② 目録の基礎事項を習得することができる ③ 分類の基礎事項を習得することができる ④ 書誌情報の基本を理解し、共同作成の意義を理解できる ⑤ 情報資源組織化の意義について理解できる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	情報資源の組織化を理解するという目標に向かって、指示がなくても図書館へ行き、自ら分類や配架の確認をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	難しく時間を要する課題が出題されても、諦めずに最後まで取り組むことができる。				
考え抜く力	課題発見力	疑問に思ったことを図書館の資料等使って迅速に調べ、客観的に考え、判断することができる。				
	計画力					
	創造力	固定観念に捉われることなく様々な角度から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	提出物の文章表現が的確にできている。				
	傾聴力	人の意見を確認しながら聞くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:「情報資源組織論」 2012年 榎本裕希子[ほか]著、学文社 1,944円 講義用レジュメおよび追加資料を配付する。 必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。 参考文献:授業の中で紹介する。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:図書館に関する科目全て 資格との関連:図書館司書						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
図書館や書店へ行き、本や雑誌がどのように置かれているか注意して見ること。 公共図書館や大学図書館をよく利用し、OPAC や配架について理解を深めておくこと。			遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合でも課題提出は必須です。課題内容を聞きに来て、必ず指定された期限までに提出すること。期日に遅れた場合は受け取らない。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	60	①	✓	試験のポイント ・情報資源組織化に関する語句が理解できている。 ・書誌コントロールについて理解できている。 ・主題分析の意義について理解できている。 ・高度情報社会における人の情報行動の特徴について理解できている。 ・『日本目録規則(NCR)1987年版』について理解できている。 ・『基本件名標目表(BSH)』について理解できている。 ・日本十進分類法の特徴について理解できている。 ・集中目録作業と共同目録作業について理解できている。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	「主体性」自ら知識を深める姿勢・行動ができる 「実行力」自己の学修目標を設定して、その達成に向けて努力することができる 「課題発見力」資料を組織化する意義を知り、関連事項を見出すことができる 「創造力」知識を活用し、新たな発想を自分の言葉で説明することができる 「発信力」聞き手にわかりやすい発表することができる 「傾聴力」相手の意見に対して、効果的な質問を通して、理解を深めることができる 「規律性」欠席、遅刻をしない。期日までに提出物を出すことができる。 ※上記の7項目は、主体性を重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	30	①	✓	課題提出(授業の中で集める。期日に遅れた場合は受け取らない。) 3点×10回
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			筆記試験、学修態度、その他(課題提出)の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
S 評価 筆記試験において、試験のポイントに記載している項目について9割以上回答できている。 学修態度にある7項目が達成できている。 課題提出が 10 回提出されている。 A 評価 筆記試験において、試験のポイントに記載している項目について 8 割以上回答できている。 学修態度にある7項目のうち 6 項目以上が達成できている。 課題提出が 9 回以上提出されている。	B 評価 筆記試験において、評価方法に記載している項目について7割以上回答できている。 学修態度にある項目のうち5項目以上が達成できている。 課題提出が 8 回以上提出されている。 C 評価 筆記試験において、評価方法に記載している項目について 6 割以上回答できている。 学修態度にある7項目のうち 4 項目以上が達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している。 課題提出が 7 回以上提出されている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 情報資源組織化の意義と理論	講義	情報資源組織化の意義を理解することができる	(予習) 教科書p6～10 に目を通す。	60	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	書誌コントロールと標準化 ・書誌コントロールとは？ 「はじまりはいつも図書館」	講義 DVD視聴	書誌コントロールとは何かを理解することができる	(予習) 教科書p12～16 に目を通す。 課題 p11 設問(1)	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力
3週 /	書誌記述法 ・目録政策 「機能する目録作り」	発表 講義 ビデオ視聴	課題発表できる 目録の種類と特徴を言うことができる	(予習) 教科書p18～22 に目を通す。 課題 p22 設問(1)	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力
4週 /	日本目録規則 ・書誌的記録の作成方法	発表 講義	課題発表できる 日本目録規則の特徴や規定を知ることができる	(予習) 教科書p24～28 に目を通す。 課題 p28 設問(1)	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力
5週 /	主題分析の意義と考え方 ・主題組織法	発表 講義	課題発表できる 主題組織法とは何かを知ることができる	(予習) 教科書p30～34 に目を通す。 課題 p35 設問(1)	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力
6週 /	主題分析と索引法 ・索引法	発表 講義	課題発表できる 事前結合索引法と事後結合索引法の違いを言うことができる	(予習) 教科書p36～41 に目を通す。 課題 p41 設問(1)	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力
7週 /	基本件名標目表 ・基本件名標目表の構成	発表 講義	課題発表できる 基本件名標目表の特徴と規定が理解できる	(予習) 教科書p42～47 に目を通す。 課題 p47 設問(1)	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力
8週 /	主題分析と分類法 ・分類とは？	発表 講義	課題発表できる 図書館分類とは何か、言うことができる	(予習) 教科書p48～53 に目を通す。 課題 p53 設問(1)	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	日本十進分類法 ・日本十進分類法の特徴	発表 講義	課題発表できる 日本十進分類法の特徴と 規定を理解することができる	(予習) 教科書p54～61に目 を通す。 課題 p61 設問(1)	180	実行力 課題発 見力 創造力 発信力
10週 /	書誌情報の作成と流通 ・MARK ・書誌ユーティリティ	発表 講義	課題発表できる 書誌コントロールの意味 を言うことができる	(予習) 教科書p62～66に目 を通す。 課題 p66 設問(1)	180	実行力 課題発 見力 創造力 発信力
11週 /	書誌情報の提供 ・OPACの管理と運用	発表 講義	課題発表できる 図書館のOPACに関する 課題について考えること ができる	(予習) 教科書p68～72に目 を通す。 課題 p72 設問(1)	180	実行力 課題発 見力 創造力 発信力
12週 /	ネットワーク情報資源の組織化 とメタデータ ・ネットワーク情報資源とは？	発表 講義	課題発表できる ネットワーク情報資源の 組織化の必要性と問題点 を理解することができる	(予習) 教科書p74～78に目 を通す。 課題 p78 設問(2)	180	実行力 課題発 見力 創造力 発信力
13週 /	多様な情報資源の組織化 ・地域資料とは？	発表 講義	課題発表できる 地域資料と絵本の組織化 について理解することが できる	(予習) 教科書p80～84に目 を通す。 課題 p84 設問(1)	180	実行力 課題発 見力 創造力 発信力
14週 /	非コントロール情報 ・人の情報行動および図書館 の対応	発表 講義	課題発表できる 高度情報社会における人 の情報行動の特徴を理 解することができる	(予習) 教科書p86～90に目 を通す。 課題 p90 設問(1)	180	実行力 課題発 見力 創造力 発信力
15週 /	まとめ ・これからの情報資源組織論	発表 講義	課題発表できる 図書館における情報資源 組織化が重要な理由を 述べるることができる	(復習) これまで授業で学ん できた内容を読み返 し、重要部分を再度 確認し、試験に備え る	300	主体性 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力